



BOM for Windows Ver.8.0
リリースノート

免責事項

本書に記載された情報は、予告無しに変更される場合があります。セイ・テクノロジーズ株式会社は、本書に関していかなる種類の保証（商用性および特定の目的への適合性の黙示の保証を含みますが、これに限定されません）もいたしません。

セイ・テクノロジーズ株式会社は、本書に含まれた誤謬に関する責任や、本書の提供、履行および使用に関して偶発的または間接的に起こる損害に対して、責任を負わないものとします。

著作権

本書のいかなる部分も、セイ・テクノロジーズ株式会社からの文書による事前の許可なしには、形態または手段を問わず決して複製・配布してはなりません。

商標

本ユーザーズマニュアルに記載されている「BOM」はセイ・テクノロジーズ株式会社の登録商標です。また、本文中の社名、製品名、サービス名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

なお、本文および図表中では、「TM」（Trademark）、「(R）」（Registered Trademark）は明記しておりません。

目次

更新履歴

本書について

製品表記

BOM Report オプション Ver.8.0について

新機能・機能拡張

1. 新たなOSに対応
2. Windows 環境の管理ノウハウをまとめたドキュメントを同梱
3. アプリケーションの高可用性を実現するための参考資料を同梱
4. ESMPRO連携がESMPRO/ServerManager Ver.7に対応
5. チーミングNICに対応する新しい監視項目を追加
6. 他にも新たな監視項目、アクション項目を多数追加
7. メール送信の認証方式としてOAuth2.0に対応
8. Linux オプションで新たな鍵認証方式に対応

仕様変更・機能改善

1. VMware オプションの「VMwareハードウェアステータス監視」を廃止
2. Linux オプションで一部カウンターを削除
3. Microsoft .NET Framework Ver.4.6.2以降に対応
4. Citrix XenApp オプションを廃止

脆弱性対応

1. OpenSSLのバージョンを更新
2. AdoptiumJDKのバージョンを更新

監視テンプレート

1. Windows サーバー監視の実運用に即したテンプレートを新規追加
 2. 山市良どっとこむ連動テンプレートを新規追加
 3. 他にも新しいテンプレートを追加
-

更新履歴

- 2022 年 07 月 BOM for Windows Ver.8.0 リリース

本書について

製品表記

正式名称	略称
BOM for Windows Ver.8.0	BOM 8.0
BOM for Windows Ver.7.0	BOM 7.0
BOM Linux オプション Ver.8.0	Linux オプション
BOM VMware オプション Ver.8.0	VMware オプション
BOM Report オプション Ver.8.0	Report オプション
BOM Citrix XenApp オプション	Citrix XenApp オプション

BOM Report オプション Ver.8.0について

Report オプションの新機能、仕様変更/機能改善および、注意・制限事項については、弊社サイトの製品情報およびサポート技術情報を参照してください。

新機能・機能拡張

1. 新たなOSに対応

BOM 8.0基本パッケージの動作環境として、以下のOSに対応しました。

※ 対応OSの詳細については、'BOM for Windows Ver.8.0 インストールマニュアル'を参照してください。

- Windows Server 2022
- Windows 11

Linux オプションの動作環境として、以下のOSに対応しました。

- Ubuntu 18.04 (LTS)
- Ubuntu 20.04 (LTS)
- Ubuntu 22.04 (LTS)

2. Windows 環境の管理ノウハウをまとめたドキュメントを同梱

弊社サイトで公開中のテクニカルライター 山市 良氏によるWindows環境管理のノウハウ集「[山市良どっとこむ](#)」から、テクニック1～10をPDF形式のドキュメントにまとめて同梱しました。

- Windowsの運用管理を快適にする10の裏ワザ表ワザ(セキュリティ編).pdf
- Windowsの運用管理を快適にする10の裏ワザ表ワザ(パフォーマンス改善編).pdf

また各テクニックの内容を盛り込んだテンプレートも同梱 (['2. 山市良どっとこむ連動テンプレートを新規追加'](#)参照) しており、各テクニックをBOM 8.0ですぐに実践することができます。

本ドキュメントはインストールメディア内の以下のフォルダーに格納されています。

[BOM 8.0インストールメディア]¥DOCUMENTS¥Guide¥

3. アプリケーションの高可用性を実現するための参考資料を同梱

仮想環境において、BOM 8.0でアプリケーションの正常稼働を確認し、可用性を向上させるための参考となる資料を同梱しました。

- アプリケーションの正常稼働確認と可用性向上をハイコストパフォーマンスで実現.pdf

本ドキュメントはインストールメディア内の以下のフォルダーに格納されています。

[BOM 8.0インストールメディア]¥DOCUMENTS¥Guide¥

4. ESMPRO連携がESMPRO/ServerManager Ver.7に対応

ハードウェア障害からアプリケーションの稼働状況まで一貫した監視体制を構築できるBOM ESMPRO連携が、ESMPRO/ServerManager Ver.7に対応しました。詳しくはインストールメディア内の以下のフォルダーを参照してください。

[BOM 8.0インストールメディア]¥TOOLS¥ESMPRO連携¥

※ ESMPRO/ServerManager Ver.5は、BOM 8.0の対応するOSが動作環境に含まれないため、連携の対象から外れました。

5. チーミングNICに対応する新しい監視項目を追加

チーミングされたネットワークインターフェースに対応する監視項目として、BOM 8.0の標準機能に「ネットワークアダプター監視」を新規追加しました。

「ネットワークアダプター監視」の詳細については、'BOM for Windows Ver.8.0 ユーザーズマニュアル'を参照してください。

6. 他にも新たな監視項目、アクション項目を多数追加

BOM 8.0の標準機能として、以下の監視項目および、アクション項目を新しく追加しました。

それぞれの項目の詳細については、'BOM for Windows Ver.8.0 ユーザーズマニュアル'を参照してください。

監視項目

- ディスク処理待ち行列長監視
 - ※ 本監視項目の追加に伴い、Windows OSの仕様により監視値が100%を超えることで問題の検知に支障を生じる可能性があった、「ディスクアクセス監視」は廃止しました。
- RDS セッション監視（セッション数取得）
- RDS セッション監視（ユーザー/クライアント リスト取得）
- RDS プロセス監視（プロセス数取得）
- RDS プロセス監視（ユーザー/クライアント/セッション リスト取得）

アクション項目

- RDS クライアント通知
- RDS セッションログオフ

7. メール送信の認証方式としてOAuth2.0に対応

"メール送信"（アクション項目および、通知項目）によるメール送信時の認証方式として、Microsoft 365で使用されるOAuth2.0に対応しました。

※ 集中監視コンソールからのメール送信では使用できません。

8. Linux オプションで新たな鍵認証方式に対応

Linux オプションの公開鍵認証方式で利用できる鍵ファイルについて、従来のRSA方式、DSA方式に加え、ECDSA方式、EdDSA方式に対応しました。

仕様変更・機能改善

1. VMware オプションの「VMwareハードウェアステータス監視」を廃止

情報取得元となるESX ホスト上のハードウェア健全性において「不明」が頻発するなど、監視情報としての信頼性に低下が見られるため、BOM 7.0から非推奨となっていた「VMwareハードウェアステータス監視」は廃止しました。

2. Linux オプションで一部カウンターを削除

以下のカウンターはOS側でのサポートが行われておらず、正常に値を取得することができないため削除しました。

- Linux メモリ監視 : Shared
- Linux ネットワークインターフェイス監視 : TCPMaxConn

3. Microsoft .NET Framework Ver.4.6.2以降に対応

Microsoft .NET Framework Ver.4.6.2以降に対応し、従来は一部機能を使用するために必要としていたMicrosoft .NET Frameworkの追加インストール作業が不要になりました。 [※]

またこれに伴って、レポート作成などの際に別途インストールする必要のあった"Microsoft Chart Controls"も、BOM 8.0では不要となりました。

※ BOM 8.0の動作対象OSにおいて、Microsoft .NET Framework Ver.4.6.2以降は既定で標準インストールされま
す。

4. Citrix XenApp オプションを廃止

リモートデスクトップサービス (RDS) を監視できる新たな監視項目および、アクション項目が追加されたことに伴い、Citrix XenApp オプションを廃止しました。

追加された監視項目、アクション項目については'[6. その他にも新たな監視項目、アクション項目を多数追加](#)'を参照してください。

脆弱性対応

1. OpenSSLのバージョンを更新

出荷時に同梱されているOpenSSLのバージョンについては、以下のウェブサイトを参照してください。

- [サポート情報番号：000207] 弊社製品で使用しているOpenSSLのバージョンについて
<https://faq.say-tech.co.jp/job-director/p382>

2. AdoptiumJDKのバージョンを更新

BOM 8.0 集中監視コンソールで使用するAdoptiumJDKについて、バージョンを"8u312"に更新しました。

このバージョンアップにより、BOM 8.0 集中監視コンソールのメール送受信で使用する SSL プロトコルは以下のようになりました。

- TLSv1.0 および TLSv1.1 は使用できなくなりました。
- TLSv1.3 に新しく対応しました。
- TLSv1.2 は従来同様使用できます。

これに伴い、BOM 8.0 集中監視コンソールのメール送受信において、TLSv1.0 および TLSv1.1 のみに対応するメールサーバーは使用できなくなりました。TLSv1.2 および TLSv1.3に対応したメールサーバーを使用してください。

監視テンプレート

※ テンプレート追加方法の詳細については、'BOM for Windows Ver.8.0 ユーザーズマニュアル'を参照してください。

1. Windows サーバー監視の実運用に即したテンプレートを新規追加

従来の「Windows システム監視Basic(ローカル監視)」と異なり、しきい値の基準を監視値の平均値とすることで、一時的な現象による通知の発生を抑制したテンプレート、「Windows システム運用監視 Basic(ローカル)」を新規追加しました。

本テンプレートには監視開始時と定時に実行されるメール送信アクションが組み込まれており、OS再起動の発生を知ることや、OSおよびBOM自身の生死確認なども可能になります。

本テンプレートは、テンプレート追加画面からテンプレート フォルダーで「標準構成テンプレート」を選択することで導入できます。

2. 山市良どっとこむ連動テンプレートを新規追加

テクニカルライター 山市 良氏によるWindows 環境管理のノウハウ集「[山市良どっとこむ](#)」に連動した、以下のテンプレートを新規追加しました。

本テンプレートは、テンプレート追加画面からテンプレート フォルダーで「標準構成テンプレート」を選択することで導入できます。

- システム安定運用-セキュリティテンプレート
- システム安定運用-パフォーマンス改善テンプレート

3. 他にも新しいテンプレートを追加

新しいOS、製品への対応や、実運用に即したしきい値設定などを目的として、複数の監視テンプレートを新規追加・更新しました。

主な新規追加テンプレート

- Hyper-V (Windows Server 2019 & 2022 用)
- MSFC_Windows Server 2022
- ActiveImage Protector 2022 ServerEditon
- ActiveImage Protector 2022 -RE
- Oracle Database 19c_21c [※1]
- Linux nginx サーバー監視 [※2]

※1 Oracle オプション専用です。

※2 Linux オプション専用です。

BOM for Windows Ver.8.0 リリースノート

2022年05月11日 初版

著者・発行者・発行

セイ・テクノロジーズ株式会社

バージョン Ver.8.0.0.0

(C) 2022 SAY Technologies, Inc.